

## 浜脇薬師祭りを彩る

### 「風流見立て細工」と『造物趣向種』

外 山 健 一

はじめに

別府市浜脇薬師祭りは、例年八月末の三日間開催され盛況を博している。この祭りを彩る庶民の芸術「風流見立て細工」、所謂ツクリモノは、全国でおよそ五十六地区において行われている。(文末資料一「一覧表」)

これを大きく分類すれば、「つくりもの」「一式飾り」「見立て細工」の三つに区分することができる。

なかでも「見立て細工」と称されるものは全国に十一地区見受けられる。大分県内では、大分市「長浜神社」の祭礼で長浜町・塩九升町、国東市安岐町小川地区商店街の「夏まつり」、玖珠郡玖珠町「地藏講」の祭礼で塚脇、別府市浜脇「薬

師如来」の祭礼で浜脇一丁目・二丁目の四地区である。

この「見立て細工」のタネ本と思われる『造物趣向種』第貳編下、安政七年(一八六〇)の版本を元第五代浜脇町長故浜崎丑治(本名直則)が永年保有していたことが判明した。よって、これを機会に「薬師如来」「薬師堂」「造物趣向種」「風流見立て細工」に関し考察をしてみる。

#### 一、薬師如来

浜脇の薬師如来坐像は檜材の座高約十七センチの一木造りで破損が著しいが小像のわりに力強い肉付けや鋭い衣文の彫り口を示し、平安前期彫刻のなごりが見られる。(『湯浴み』県立博物館刊参照)この薬師佛は豊国法師の作と伝えられている。(入江秀利氏)

「薬師」とは「薬師瑠璃光如来」の略であり、人間は虫も殺さぬ顔をしているが知らず知らずのうちに悪口・雑言を吐き、獣肉類を食し、殺傷をしている。人生の終焉に際して過去を懺悔するため研修を受けるのである。それが、七日毎に行なう法要である。これは十三佛信仰から来たもので七日が十三夜の真ん中で、これを満中陰と云い、四十九日の法



移築された。

戦後の昭和二十六年十月十四日襲来のルース台風で損傷を受け、霊砂泉の解体と運命を共にした。併し、何とも奇妙なことに、薬師堂は、大分瓦斯株式会社西、山の手道路沿いの「金剛頂寺」（別府市北的ヶ浜五丁目）の再建の折に建築部材として使用され幸いにも続けていた。正面は、木彫に彩色が施されている。古色をおびているが立派な構えである。

（入江秀利氏にご教示を戴いた）

御本尊は、浜脇の崇福寺に預けられ、薬師祭りの際だけ出開帳していた。薬師堂は昭和四十四年町内有志の手で再建された。（施工請負業者、

三光建設工業株式会社、故佐藤昭三社長）

昭和六十三年に着

工した浜脇A街区第一種市街地再開発事業により昭和六十三年六月二十五日一時仮移転し、同事業完成の平成三年三月現



〔浜脇薬師堂〕  
浜脇霊砂泉前に建立されていた薬師堂は昭和26年のルース台風で破損したが、当時の部材で再建されファサード部分。別府市北的ヶ浜町

在地に安置した。

### 三、造物趣向種

見立て細工のタネ本と目される『造物趣向種』は、当時の狂歌師らの手によつて発刊されたが、その出来を称賛する狂歌を添えて掲載したものである。また実際の作り方に関する記述が見られることから、このことは単に見て楽しむだけの本ではなく、見た人に作り物を作る機会を与えている種本である。

『造物趣向種』天明七年（1787）刊（鶴編）（亀編）

『四季造物趣向種』天保八年（1837）刊（乾上）（坤下）

『造物趣向種』安政七年（1860）刊（一編上）（二編下）

以上の三種六冊が現在確認されている。

尚、『享保以後大阪出版書籍目録』には次のような記述が載っている。

『造物趣向種』天明七年刊（鶴編）（亀編）

画工Ⅱ山村屋元作（天満樽屋町）

版元Ⅱ井筒屋伝兵衛（梶木町）

出願Ⅱ天明六年閏十月十八日



許可 天明六年十二月二十四日

つまり、天明六年十二月二十四日に許可を得て、天明七年に発売したことになる。

さらに『造物趣向種』二編 今昔造物誌 五冊

『造物趣向種』三編 造物仕様集 五冊

『造物趣向種』四編 近世造物記 五冊

以上の三編は現在所在が確認されておらず、恐らく発刊に至らなかつたものと思われるが詳細は分らない。

ここで注目すべきは、もつとも造物関係の出版物の担い手は、すべて上方の狂歌師たちである。なぜ江戸の狂歌師たちが造物関係の書物に関与していないのかは不明である。このことは『造物趣向種』に掲載されたようなツクリモノが東日本・の祭礼の中で一切見られないということと、なんらかの關係があるのかもしれない。

#### 四、風流見立て細工

「風流」は中世に開花した一種の文化現象であるが、近代に入ると、また新たな局面を見せる。

「風流」は、守屋毅氏によれば次のように定義されている。

一、趣向をこらした人工的な細工物。

二、とりわけその華美な様子。

三、それらによって特色づけられる祭礼もしくは芸能。

別府は古来竹細工が有名で、一説では室町幕府三代將軍足利義満の時代、木地師の免許を持った新吉なるものが迫の河内溪に入り込んで、竹で「塩桶」のなじり「シヨウケ」を作り塩商人や豊前方面の塩田夫からの注文で、大変な富を残したと言われている。この竹細工の技術が「見立て細工」の作成に役立ったものと考えられる。

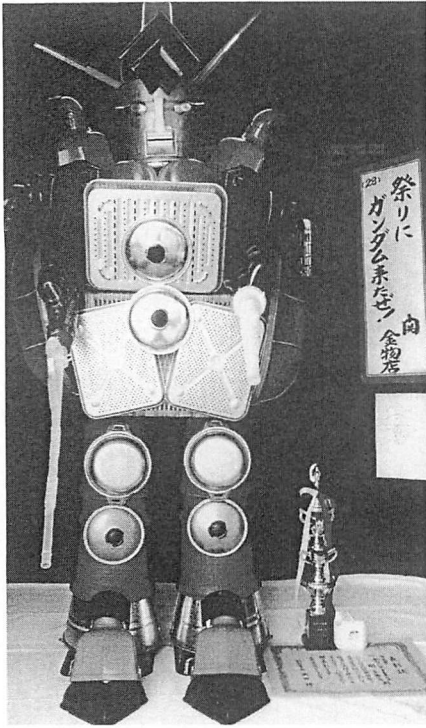
浜脇の「風流見立て細工」が栄えたのは、浜脇の「むらぎみ」の友永直氏（故人）の話によれば文化年間から文政年間（1804～1818～1830年）の間だと語っていた。

このことは、『造物趣向種』天明七年（1787）版初版の発売から十六年後のことである。

また、旅館の什器などを用いて「見立て細工」を作成した時代については文末の（資料2）に見られるように、明治期の浜脇の旅館はほとんどが木賃で、旅館は二軒であった。

※注（明治四十年頃の一等木賃一日の値段）

「木賃（へや料）二十銭、メシ八銭、副食二十銭、夜具二十銭、ゆかた二銭、湯銭二銭、カヤ五銭、座ぶとん三銭、百姓の中



平成 24 年見立て細工  
「祭りにガンダム来たぜ」別府市長賞（1位）  
関金物店（関正勝氏）作品  
金物一式飾り

には夜具と米持参で宿からサービスのみそ汁と香の物だけで入湯する者も多かった。」

したがって、旅館の什器を用いて「見立て細工」が行われた時代は、早くとも大正末期から昭和に入ってからと考えられる。この庶民芸術には、かつてその道の名人がいた。故人では、堀藤吉郎・小清水基・阿部京平・尾林一策・友永素夫・徳永徳三・阿南八郎・富士〇〇の各氏が挙げられる。現在は安藤允己・若林満・岩瀬龍子・中村悠紀子の各氏が挙げられる。尚、薬師祭りの起源は平安時代の安和年間（968〜970）と伝えられている。

（故堀藤吉郎説）



平成 24 年見立て細工  
「平清盛」別府市議会議長賞（2位）  
朝見1丁目2区（荒金英二自治会長）作品  
日用品雑貨（足は八鹿の一升びん）

おわりに

「見立て細工」を語る時、「本物」「偽物」という話になれば、それらは徹底的に偽物であることを目指している。本物そっくりに作ってみる人の目をだますということを考えていない。むしろネタは始めから割れており「いかに突拍子もないかということ」や「いかに馬鹿げているか」ということが求められている。人びとの笑いをとることが大事で、本物ソックリではいかにも芸がないのである。

この庶民の芸術「造物」に込められる「意匠」「結束」「材料」「技術」は実に奥が深い。

これからも浜脇地区の無形民俗文化として伝承してもらいたい。

### 参考文献

『近世芸能文化史の研究』 守屋毅著 弘文堂刊

『大阪芸術大学紀要』第24号 「都市祭礼における風流の

一側面つくりものの場合」 西岡陽子

『金津町史』 伊藤尚一著 金津町教育委員会事務局刊

『本陣飾り物』 金津商工会編

『平田一式飾』 平田一式飾保存会刊

『伝承文化研究』 第5号 国学院大学文学部伝承文学研究室刊

『造物趣向種』 三種 崔京国解説 太平文庫刊

『造物趣向種に関する一考察』 清家三智氏卒業論文

『江戸の見世物』 川添裕著 岩波新書刊

『近世風物志』 岩波書店刊

『拾椎雑話』 福井県郷土誌懇談会刊

『アサヒグラフ』 朝日新聞社刊 平成八年

『西日本新聞』 平成四年十月

泉都有情「別府界隈」 別府支局長長尾和夫著

『別府旅館能力調査票』 岡野定治著 大正九年刊

資料1 全国の「つくりもの」「一式飾」「見立て細工」一覧表

都道府県名	所在市町村地区	開催時期	祭 事	区分	指定区分
北海道 (空知支庁)	秩父別町 (平成8年(1996)スタート全国で最も新しく始まった。)	9月開催	収穫祭	つくりもの	
富 山 県	高岡市福岡町	9月23～24日	つくりもんまつり	つくりもの	
岐 阜 県	大垣市墨保町	7月第4日曜日	天王祭	出しもの	
	安八郡神戸町	7月15日	天王社まつり	つくりもの	
	高山市	1月中旬	飛騨高山飾り	一式飾	
和歌山県	田辺市	7月13日	新庄ぎおんさん	一式飾	◎市
福 井 県	あわら市金津町	7月19～21日	金津祭り	本陣飾	
	武生市武生駅 (長さ26メートルの龍は2960丁の刃物で出来ている。)	常設展示	昇龍	一式飾	
滋 賀 県	伊香郡余呉町	不定期	茶碗祭	一式飾	
	東浅井郡虎姫町 (日用品のつくりもの)	隔年8月	東本願寺五村別院夏まつり	つくりもの	
	米原市米原町	8月23～24日	醒井地藏祭り	つくりもの	
	蒲生郡安土町	8月17日	愛宕神社祭り	つくりもの	
	野洲市野洲町	7月24日	行畑地藏祭り	つくりもの	◎市
	草津市渋川商店街ほか	8月23日	草津納涼祭り	つくりもの	
大 阪 府	枚方市	10月～11月	菊人形	一式飾	
	大阪市中央区久太郎町 (坐摩神社)	7月22～25日	せともの祭	つくりもの	◎市
	八尾市八尾木(よおぎ)	8月28日	不動明王縁日	つくりもの	
京 都 府	福山市	7月下旬	額田のダシ	一式飾	◎市
	天田郡夜久野町	10月第2土曜日	神社の秋祭り	つくりもの	
兵 庫 県	氷上郡上町	8月23～24日	愛宕祭	一式飾	
	氷上郡青垣町	8月20～25日	佐治川まつり	見立て細工	
	朝来市山東町	8月18～19日	夏まつり	つくりもの	
	朝来市和田山町	8月22～23日	地藏祭	つくりもの	
	養父市八鹿町	7月第3日曜日	町民祭	つくりもの	
	豊岡市日高町	7月23～24日	夏まつり	つくりもの	
	丹波市	8月下旬	成松の造り物	つくりもの	◎市
	養父市	8月下旬	広谷の造り物	つくりもの	



都道府県名	所在市町村地区	開催時期	祭 事	区分	指定区分
鳥 取 県	南部町	4月下旬	法勝寺	一式飾	◎市
	西伯郡西伯町	4月14～15日	長田神社祭	一式飾	
島 根 県	出雲市平田本町通り (平田一式飾)	7月23日	天満宮夏祭	一式飾	◎市
	出雲市斐川町	7月16～18日	直江夏祭	一式飾	◎市
	出雲市掛合町	8月19～20日	恵比寿まつり	一式飾	
岡 山 県	吉備中央町	8月下旬	川合神社	つくりもの	◎県
	高岡市	9月下旬	福岡町祭	つくりもの	
広 島 県	福山市鞆	9月下旬	夏まつり	つくりもの	
	東広島安芸津町三津浜	7月28～29日	住吉祭	つくりもの	
愛 媛 県	喜多郡内子町	7月14～15日	夏まつり	つくりもの	
香 川 県	香川郡香川町	9月13日	地藏盆	見立て細工	
宮 崎 県	延岡市	7月下旬	七夕まつり	見立て細工	
	日向市	中秋の名月	十五夜祭	見立て細工	
	日南市	不定期	大堂津祭	見立て細工	
	国富市	8月上旬	六日町伝統歌舞伎	つくりもの	◎町
	延岡市山下町	4月16～17日	大師祭	見立て細工	
熊 本 県	益城町	8月下旬	地藏まつり	つくりもの	
	氷川町	8月下旬	地藏まつり	つくりもの	
	山都町	8月下旬	火伏地藏まつり	つくりもの	
	美里町	8月下旬	やまびこ祭	つくりもの	
	御船町	8月下旬	があっぱ祭	つくりもの	
	阿蘇郡高森町	8月17～18日	風鎮祭	見立て細工	
	阿蘇郡蘇陽町	8月第4土・日曜	火伏地藏祭	つくりもの	
	上益城郡矢部町	9月第1土・日曜	八朔祭り	つくりもの	
	宇土市善道寺町	8月23～24日	うと地藏祭り	つくりもの	
大 分 県	国東市安岐町 小川地区商店街	7月28～29日	夏まつり	見立て細工	
	大分市長浜町、 塩九升町	7月5～7日	長浜神社 夏まつり	見立て細工	
	玖珠郡玖珠町塚脇	8月24～25日	塚脇地藏講	見立て細工	
	別府市浜脇1丁目、 2丁目	8月26～28日	浜脇薬師祭り	風流見立て 細工	◎市

◎印は、無形民族文化財指定

資料2 浜脇地区の木賃・旅籠の明治期調査票

開業年月日	屋号	旅館主氏名	旅館種別	その他
明治 20.10. 2	中富	安達 富蔵	木賃	
〃	土佐屋	濱崎 浅市	旅籠	濱崎丑治第五代浜脇町長
〃	土佐屋別荘	〃	木賃	
〃	泉孫	高橋 欽哉	〃	
〃	塩久	家近 秀	〃	
〃	塩熊	友永 環	〃	
明治 20.10. 3	吉野家	桑原 都市	〃	
〃	塩長	高橋 長吉	〃	
〃	泉丈	高橋 丈吉	〃	
明治 21. 4. 9.	茶屋	中井 友作	〃	
明治 22. 4. 8	安屋	安部 寶作	〃	
明治 22. 5. 9	山田屋	若山 健蔵	〃	
明治 27. 11. 18	清田屋	加藤 ツヤ	〃	
〃	塩久別荘	家近 秀	〃	
明治 29. 4. 10	港六	友永 六之蒸	〃	
明治 30. 7. 9	米道	中津留幸三郎	旅籠	町会議員
明治 31. 1. 6	河重	佐藤 重蔵	木賃	
明治 31. 2. 1	河網	佐藤 綱五郎	〃	第五代別府町長
〃	海老傳	永井 相次	〃	町会議員
明治 33. 4. 6	梅屋	友永 専四郎	〃	
明治 36. 2. 9	萬屋	佐藤 竹蔵	〃	
明治 36. 3. 14	港平	友永 平次郎	〃	町会議員
明治 36. 3. 25	立花屋	永井 次郎	〃	町会議員
明治 39. 2. 2	河内屋	佐藤 ウタ	〃	
明治 39. 8. 29	港竹	友永 竹五郎	〃	
明治 39.12.25	今村屋	今村 以上	〃	
明治 40. 5. 9	塩金	家近 宗	〃	
明治 41. 6. 29	平野屋	加藤 佐井助	〃	
明治 43. 4. 4	金新	長井 タキ	〃	
明治 43.12.20	赤松屋	赤松 長太郎	〃	
明治 44. 2. 9	立花屋	葛城 孫一	〃	
明治 44. 3. 18	宇和島屋	野本 マキ	〃	